

東北調査 2018

概要

日時：2018年10月29日（月）～31日（水）

参加者：

東北大学1名，信州大学1名，熊本大学6名

日程：

1日目

- ・大川小学校（宮城県石巻市釜谷）
- ・川の上プロジェクト：百俵館，耕人館（石巻市）

2日目

- ・せんだいメディアテーク（宮城県仙台市）
- ・せんだい3.11メモリアル交流館（仙台市若林区：地下鉄荒井駅舎内）
- ・旧門脇小学校（石巻市泉町）
- ・東松島市図書館「まちなか震災アーカイブ」（宮城県東松島市）

3日目

- ・閑上地区（宮城県名取市）
- ・震災遺構 仙台市立荒浜小学校（仙台市）

調査の目的

「震災アーカイブの防災教育とまちづくりへの活用に関する研究」と題し、災害からの学び・継承する防災・減災教育，まちづくりへの利活用に重点を置いたアーカイブの在り方について情報収集，研究討議を行った。

感想・気づき

せんだいメディアテークでは「3がつ11にちをわすれないためにセンター」の活動の解説を聞き、様々な立場の人が様々なサイズで災害継承を行っていることや、災害から時間が経過する過程での活動を知り、コミュニティ・アーカイブの実践手法を学ぶことができた。

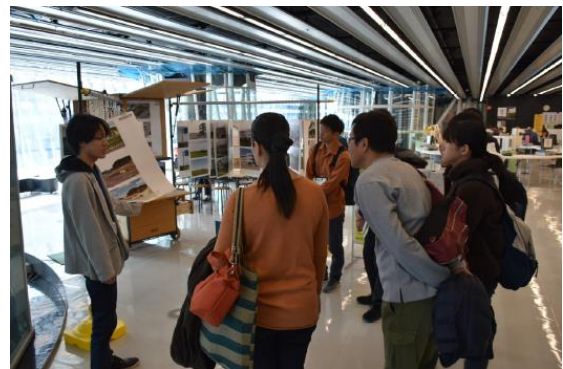
荒浜小学校，門脇小学校，大川小学校は複数回目の訪問であり，時間の経過で取り巻く環境や風景が様変わりしている遺構を現場で現物保存することの課題を実感することができた。



大川小学校



川の上プロジェクト



せんだいメディアテーク



せんだい3.11メモリアル交流館